

## こどものお楽しみ

### - 手作りおもちゃからキャラクター商品へ -

かつてのおもちゃは、ほとんどが木製で、買うというよりも自分たちまたは大人が手作りすることで間に合わせていました。しかし高度経済成長が始まった昭和30年代後半以降、プラスチックで大量生産されたおもちゃを買うことが当たり前になっていきました。またテレビや雑誌の普及に伴い、商品の見た目のインパクトが重視され、スターといわれる芸能人やスポーツ選手、漫画やアニメーションの登場人物をあしらったキャラクター商品の開発が進みました。キャラクターはおもちゃだけでなく、文房具や衣類、靴、食品や飲料など身の回りの商品にも広がっています。

みなさんが持っているおもちゃやグッズと比べて、どんな違いがありますか？

#### コリント・ゲーム

ビー玉を使って遊ぶ手製のおもちゃ



昭和20年代後半～30年代

岡崎むかし館 蔵

#### フィギュア

昭和50年代のキャラクター（円盤戦争バンキッド）の人形



岡崎むかし館 蔵

#### ミニカレンダー

チョコレートの販促グッズ。1970年代の大人気アイドル（山口百恵、三浦友和）をコマースに起用



岡崎むかし館 蔵

#### こども用サンダル

キャラクター（ウルトラマンエース、スーパーマン）がデザインされたもの



岡崎むかし館 蔵

#### ボールペン

1970年代のアイドルやアニメのキャラクターをあしらったもの



岡崎むかし館 蔵

#### コイン入れ

昭和40～50年代の人気力士（表に横綱輪島、裏に大関貴ノ花）をデザインしたこども用商品



岡崎むかし館 蔵